

いにしえ
キラリよしおか古語り⑤

毎年、三宮神社春の例祭に奉納される、伝統芸能である溝祭獅子舞は、約450年前から地域に伝承されています。

雨乞い獅子として有名で、日照り続きの時に船尾に登り、雨乞い祈願をすると、必ず恵みの雨が降るといので、遠くの村々まで評判になったと伝えられています。

農業用水路の整備が進んだ現在は、昔に比べると水の心配はずいぶん少なくなりました。しかし、それまでは、田畑に必要な水は天気次第で、「雨乞い獅子舞」は、農業を生活の糧とした地域の人々の、恒例の行事でした。

5月29日、溝祭獅子舞保存会の約60

人が船尾滝まで行き、昔をしのんで11年ぶりに、雨乞い獅子舞を行いました。

初夏の日差しに美しく輝く獅子頭が、とても印象的でした。その様子は、翌日の上毛新聞記事と、6月9日のNHK『ほっとぐんま640』で紹介されました。

今年の水不足が心配されるなかでの、雨乞い獅子舞でしたが、その夜から翌日にかけて、田植え時の恵みの雨が降りました。

現在、特に若手の後継者が不足気味で、将来的な継承には不安があるようです。伝統芸能を、キラリと光る、まちの財産として末永く受け継がれてほしいと思います。

船尾滝で舞われた
雨乞い獅子舞

編集後記

本定例会の開会日冒頭、4月に発生した熊本大地震によって犠牲となられた方々へ、議員・執行部として、傍聴者全員により、熊本県の方向である南西の方角に向かって1分間の「黙祷」が捧げられました。

ここにご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

折しも6月は、全国一斉の「土砂災害防止月間」でした。自然災害の少ない安全な吉岡町と言われますが、いざという時、何をなすべきか、再確認することを、それぞれが常に頭の片隅に置いておくことが大切だと感じます。

本文とインデックスの2色刷りカラーが茶系色から緑色へと刷新されました。

開かれた議会、親しまれる議会だよりづくりをいつも目指します。皆様のご意見をお待ちいたします。

(柴崎徳一郎)

編集委員

委員長 坂田 一広
副委員長 金谷 康弘
委員 村越 哲夫
竹内 憲明
柴崎徳一郎
大林 裕子
富岡 大志